

第25回福島県高齢者大集会

「健康第一で生きがいのある有意義な生活を実現しよう！」

～520名の来場、成功裏に開催される～



多くの方が参加して開催された「第25回高齢者大集会」

伝統ある第25回福島県高齢者大集会は、県高退連者連合をはじめとする12団体で構成する実行委員会主催のもと、この程9月3日（日）10時～、福島県教育会館大ホールにおいて開催された。集会には、県内から520名に及ぶ来場があり、高齢者を取り巻く課題を共有し、元気で安心できる社会創造をめざして、一日の尊い時間を共有していただく場となった。



主催者代表挨拶をする大倉冬樹実行委員会委員長

第1部の集会では、冒頭大倉冬樹実行委員長は、「今日の長寿社会において、高齢者の社会保障面は本来拡充すべきところであるが、医療費や年金・介護など高齢者を取り巻く公的支援は削られており、厳しさを増している。生活弱者を守るべき政治の機能が果たされていない。国民の生命を脅かすような重要法案も強行採決など独裁的な運営が目立つ。数の暴挙は、やはり一人一人の結集で政治の流れを変えるしかどうにもならない。私たちができる政策要求実現に向けた種々の課題は、配布資料の内容で取りまとめさせていただいた。着実の実現につながればとの思いを強くしている。その意味では、本日の第2部では社会保障を取り巻く動向について、講演をいただくことにしている。第3部のアトラクションも楽しみにさせていただいて、いいリフレッシュの有意義な時間にしていただければ主催側として大変ありがたい。どうぞ宜しくお願いします。」と挨拶した。また、来賓として今泉裕連合福島会長は、連帯・協力の御礼と未組織・低所得労働者層の問題、そして高齢者や子どもなど生活弱者層への政策強化で地方創生、人口減少へ歯止めをかけさせなければ自治体運営もままならず活力も生まれにくい、などを参加者に訴え共有を求めた。さらに、民進党福島県連・金子恵美代表代行、社民党福島県連・紺野長人代表から連帯・祝意のあいさつをいただいた。さらにまた、上部団体の日本高齢者連合の菅井義夫事務局長が来場され、全国でも稀な歴史と規模・内容を称賛し、高齢者を取り巻く政治的課題に触れ、連帯の挨拶をされた。



挨拶する来賓の皆さん、左から連合福島今泉裕会長、民進党県連代表代行金子恵美衆議院議員、社民党県連代表紺野長人福島県議会議員、日本高齢者連合菅井義夫事務局長

第2部の基調講演では、労働者福祉中央協議会から花井圭子事務局長をお迎えし「社会保障の現状と今後の課題」と題し、講演をいただいた。非常に間口の広い、しかも難しいテーマではあったが、経験則からのわかりやすいお話を通じ、会場から熱い視線が注がれた。

第3部は、アトラクション。いわき市のハーラウ ラウラナーニをお招きし「フラ・タティアンダンスショー」は華麗でリズムカルな踊りを満喫し、その後スーパー☆ストラップによる「躍動的なエアキバンド演奏」は、迫力ある音に元気をもらおう雰囲気終始しました。最後に、また来年9月2日、元気に再会を誓い、終了した。尚、今年は九州北部豪雨災害による被災地支援、そして福島子ども保養プロジェクトへの応援という視点で、カンパ協力を呼びかけ、会場・参加者から85,078円もの善意が寄せられた。



記念講演「今後どうなる社会保障」
中央労福協 花井圭子事務局長



「フラ・タティアンダンスショー」
ハーラウ ラウラナーニの皆さん



「躍動的なエアキバンド演奏」
Super☆STRAPの皆さん

3日に高齢者大集会
福島 先着500人に弁当

第25回県高齢者大集会は9月3日、福島市の県教育会館で開かれる。記念講演のほか、フラダンスやバンド演奏などのアトラクションなども予定されている。県高齢・退職者連合や県老人クラブ連合会などをつくる実行委員会の主催。記念講演では中央労働福祉協議会の花井圭子事務局長（南相馬市小高区出身）が「今後どうなる社会保障」をテーマに話す。全体集では、県や国に対する介護保険制度や医療制度などに関する要求事業、弱者に優



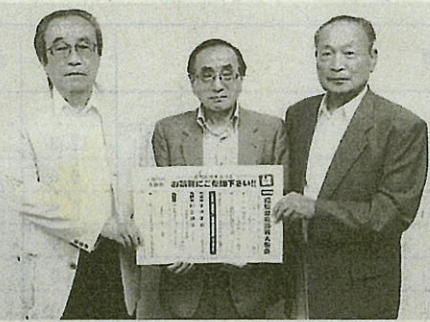
来場を呼び掛ける（右から）伊藤副会長、大倉会長、須田次長

しい社会保障制度などを盛り込んだスローガンなどを採択する。先着500人には弁当を用意。会場では無料の健康チェックなども受けられる。

県高齢・退職者連合の大倉冬樹会長らは18日、福島民報新聞社を訪れ、来場を呼び掛けた。伊藤鉄次副会長、須田安夫事務局次長が同行した。

3日に県高齢者大集会

福島 記念講演やバンド演奏



集会をPRする（左から）伊藤さん、大倉さん、須田さん

第二十五回県高齢者大集会は九月三日午前十時から、福島市の県教育会館で開かれる。実行委員会主催。一部は全体集会で国や県への要請事項を確認する。二部は中央労働

ニがフラ・タヒティアンダンスショーを催す。バンド「スーパー☆ストラップ」のエレキバンド演奏もある。健康チェックコーナーも設ける。入場無料で先着五百人に昼食が付く。予約不要。問い合わせは実行委 電話024(522)0500へ。大倉冬樹実行委員長、伊藤鉄次副委員長、須田安夫事務局次長は福島民報社を訪れ、一般の参加を呼び掛けた。

「総選挙」シルバーパワーで
与野党逆転を
実現しよう！！

第25回 高齢者大集会

高齢者いじめの政治はもうたくさん
与野党逆転を実現させ生活を守ろう！！

9・9福島民報新聞

福祉充実の社会へ
福島で大集会

第25回県高齢者大集会は3日、福島市の県教育会館で開かれ、年金や医療、福祉の充実など高齢者が安心して暮らせる社会の実現に向けて国や県に求めることを確認した。



県老人クラブ連合会など12団体でつくる実行委の主催で、約520人が参加した。

高齢者の生活支援充実へ

国などへの要請事項確認



バンド演奏に聞き入る参加者

第二十五回県高齢者大集会は三日、福島市の県教育会館で開かれた。社会保障や生活支

援の充実など県や国に対する要請事項を確認した。県老人クラブ連合会などをつくる実行委員会の主催で、約五百二十人が参加した。大倉冬樹実行委員長があいさつし、今年のメインスローガンを「健康第一で生きがいのある有意義な生活を実現しよう」に決めた。中央労働福祉協議会の花井圭子事務局長が「社会保障の現状と今後の課題」と題して講演した。講演後、参加者は県内で活動するシニアバンド「スーパー☆ストラップ」の演奏などを

バンド演奏に聞き入る参加者が講演したほか、県内で活動するシニアバンド「スーパー☆ストラップ」のステージなどが繰り広げられた。



た。大倉冬樹実行委員長があいさつした後、国や県に対する要求項目を確認、採択し、今年のスローガンを「健康第一で生きがいのある有意義な生活を実現しよう」に決めた。集会後、労働者福祉中央協議会の花井圭子事務局長

きらり健康生協の無料健康チェックコーナー・80台の駐車場整理ご苦労様



第2次カンパも含めて総額9万円を、
県生協連の子ども支援カンパに3万円。
民友・民報事業団へ九州豪雨災害・
東日本大震災子ども支援に各3万円を寄託
しました。皆様のご協力に感謝します。



五百二十名の受付大変でした。

福島民友
愛の事業団
4日
◇県高齢者大集会実行委員会が九州豪雨、東日本大震災の両義援金に計3万円、福島市で3日に開いた「第25回県高齢者大集会」で来場者から募った。大倉冬樹実行委員長が「被災した子どもたちの支援に役立ててほしい」と福島民友新聞社に寄託した。写真、伊藤鉄次副委員長、須田安夫事務局次長が同行した。

第25回 福島県高齢者大集会
一般の方大歓迎! どなたでもどうぞ! お気軽にご参加下さい!! 入場無料
第25回 福島県高齢者大集会
高齢者が健康で安全・安心に暮らせる社会をめざし、大震災・原発災害・風評被害をのりこえ、風化をさせない明日に希望をもてる「県民集会」です。
とき 9/3(日) 午前10時~午後2時 ところ 福島県教育会館「大ホール」
ご招待 昼食付 先着500名様 (予約不要)
第1部 全体集會 国・県への要請事項確認
第2部 記念講演 午前11時~ 「今後どうなる社会保障の現状と今後の課題」
中央労働福祉協議会 事務局長 花井圭子氏(田小高町出身)
第3部 アトラクション 午後0時40分開演
○フラ・タヒティアンダンスショー リノアあゆみ先生率いる「ハラフラウラーナ」
○運動的なエレキバンド演奏 演奏:Super☆STRAP(スーパー☆ストラップ)

民報教育福祉
事業団
4日 県高齢者大集会実行委員会が3万円
福島市で3日に開かれた
県高齢者大集会で出席者
から募った。東日本
大震災で被災した子ども
たちのために2万円、九
州豪雨の被災支援に1万
円を託す。大倉冬樹実行
委員長、伊藤鉄次副委員
長、須田安夫事務局次
長が事業団事務局に届け
た。
左から伊藤、大倉、須
田の各氏

第25回 福島県高齢者大集会
9/3(日) 10:00~14:00
福島県教育会館 大ホール
福島市浜町10-38
料 無料(弁当付)
高齢者や弱い立場の方が安心して暮らせる社会とは程遠い現在。政治の私物化や悪政のために社会保障が改悪されることは許せません。明日に希望をもてる県民集会です。
お問い合わせ 福島県高齢・退職者連合 TEL.024-522-0500